

## 薬用作物産地支援 栽培技術研修 東海・近畿会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 初日：三重県農業研究所茶業・花植木研究室 花植木研究課（鈴鹿市高塚町新林1619-1）

実施時期： 10月17日(月)～18日(火)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
10月17日(月)	13:00-13:40 (40分)	13:00現地集合 場所：白子駅前 (近鉄名古屋線) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:40-15:00 (80分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	三重県鈴鹿市 有限会社イトウグリーンの管理圃場（シャクヤク、トウキ）における現地研修を通じて、薬用作物の特徴、栽培上の注意点、種子・種苗の供給、品質評価等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	伊藤 哲男 磯部 仁吉	有限会社イトウグリーン 代表取締役 伊勢くすり本舗株式会社 生産部
	15:00-15:15 (15分)	移動(バス利用) →研修会場（三重県農業研究所 花植木研究課（鈴鹿））		事務局	
	15:20-16:20 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	兀下 敏幸	日本漢方生薬製剤協会生薬国内生産検討班
	16:30-17:10 (40分)	移動(バス利用) →津駅		事務局	
10月18日(火)	9:00-10:00 (60分)	[講義] 薬用作物の栽培技術 (仮題)	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培技術について解説する。(ミスマサイコ、シャクヤク、ジュウヤク、トウキ等)	酒井 英二	岐阜薬科大学 薬草園研究室 教授
	10:10-11:20 (70分)	[講義] 三重県鈴鹿地域における薬用作物栽培の取り組み (仮題)	三重県鈴鹿地域における薬用作物栽培（シャクヤク、トウキ等）の取り組みについて紹介する。	加藤 宏明 伊藤 哲男 小林 泰子	伊勢くすり本舗代表取締役 有限会社イトウグリーン代表取締役 三重県農業研究所 茶業・花植木研究室 花植木研究課 主幹研究員兼課長
	11:30-12:00 (30分)	[講義] カノコソウの栽培について (仮題)	九鬼産業では三重県の事業により薬草栽培を実施している。カノコソウの栽培についての自社の取り組みを紹介する。	大岩 優貴	九鬼産業株式会社 開発部 商品開発課 兼 医薬品研究課 係長
	12:00-13:00	昼休み			
	13:00-14:30 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:30-14:50	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	